

【ファシリテーターとしての質問手法】

ファシリテーターとしての質問の目的は、学生が自らの見出したプロセスを通じて問題解決への合理的な解を導き出せるように**ガイド**することです。学生達は質問に対して、情報の提供、考えやその経緯の説明、内容の言い換え、彼らがそのアイディアや結論に到達した理由を論理的に説明しなくてはなりません。こうした質問やそのやり取りはグループ内のメンバーによっても同様に行われていくことになります。また、授業中はもちろん、成果発表時のファシリテーションとしても必要なものです。以下にそれぞれの場合における質問例をあげます。

① 学習の状況を確認・明確化するための質問

学習の状況の確認・明確化のための質問は進行状況、基本的な考え方・ポイントの確認、追加の情報の必要性などを尋ねるものです。

- 課題解決を進める上で、どの段階まで達成できていますか？
- 課題解決を進める上で、何か疑問や問題点ありますか？
- 課題解決に向けて採用した方針（考え、仮説）の理由は何ですか？
- ～の議論を進めるために、必要な情報や事項は何ですか？
- ～の議論の中で、・・・について確認していますか？
- 議論で不足していることは？/～が不足していませんか？
- 今の～が、この後の議論（仮説や結論）にどう繋がりますか
- これまでの～で、何か確認すべき点・問題点はありますか？
- その考えの中で最も重要なポイントは何ですか？
- なぜ、そう考える(主張する)ことができますか？
- 問題解決のために次に考えるべきことは何ですか？
- この次は何をする必要がありますか？
- この後の作業予定（分担、時間配分）はどうなっていますか？

② 学生の観点や考え方、仮定を確認・指導するための質問

問題解決のための議論は「仮定」を出発点にして展開されています。そのため、学生らは彼ら立てた仮定と観点や考え方について、その明確化、確認、説明、あるいは信頼性についての質問が必要になります。

- どういう観点（仮定）から、この結論（仮説）が導かれたのか、説明してもらえますか？
- 仮定や考え方は与えられた情報（条件）をすべて考慮していますか？
- 今の仮定や考え方以外の可能性はありませんか？

- 別の考え方や手法はありますか？
- 別の観点から問題（仮定）を考えることはできますか？
- 今の仮定や考え方に追加する事項はありませんか？
- 今の仮定に問題点，あるいは反証はありますか？
- ～の議論（仮定）で・・・を考慮する必要はありませんか？
- ～と・・・の共通点，相似点あるいは相違点は何ですか？
- これらのことは今まで学んできたことと，どう関連しますか？
- これらのことに今まで学んできた何が活用できますか？

③ 理由や根拠（証拠）を確認・指導するための質問

主張のための理由と証拠(論拠)の適切さを確認する質問です。さらなる例示・証拠の追加，学生らがこれらを確認するのに必要なプロセス，あるいは課題解決におけるこれらの取り組みに関して学生が方針を変える必要性などを考えさせます。

- 仮説（結論）の根拠（証拠）として，何をあげることができますか？
- その理由の中で何が最も重要だと思いますか？
- これらの根拠（証拠）は，仮説（結論）にどう影響しますか？
- その根拠（証拠）が妥当であることの原因は何ですか？
- その根拠には具体的な事例（一般性）などがありますか？
- 今あげた根拠（証拠）以外の可能性，追加はありますか？
- ～の理由の中で・・・のことを説明できますか？
- 何がその根拠（原因）で，どうしてそう結論する（考える）ことができますか？

④ 学生の考え方の意味することとその結果・結論を訊く質問

学生に論理的な説明・議論させる質問です。活動のスタート点（原因）と成果（結果）、最終的に得られる結果，場合によっては代替案の必要性などについて考えさせる機会を与えます。考え方の相似点や相違点について，あるいは観点の違う人とどのような議論が行われるのかを訊く聞くことは，複眼的な視点の育成に有益です。

- この仮定（考え方）から導かれる仮説（結果）は何ですか？
- これらの考え方（結論）の長所（強み）と短所（弱み）は何ですか？
- これらの考え方（結論）の相似点あるいは相違点は何ですか？
- これらの結果（結論）が最適（ベスト）であると考え理由は何ですか？
- この考え方（結論）は全てのケースで成り立ちますか？適用が限定される場合がありますか？
- 得られた仮説（結論）への反証は存在しますか？
- ～を想定した場合，今の仮説（結論）はどう影響されますか？

⑤ 学生に問題点を気付かせるための質問

学生に質問の意味を聞く質問，質問の主旨，あるいはその課題点を聞くことも問題点を気付かせるのに有効です。学生は質問に対して論理的に回答することで議論を振り返り，問題点や改善点を見出します。

- なぜ～が重要だと思いますか？
- ～が・・・であれば，* * * はどう影響しますか？
- ～が意味していることは何ですか？
- ～を説明するには，何が不足していますか？
- この仮定が正しいとして，導かれる結果は～ですか？
- これらの考えを～に当てはめた場合，どうなりますか？
- 今の考えを実際に適用した場合，何が予想されますか？
- なぜ，この質問をしたと思いますか？（何を聞きたいと思っていると考えますか？）

以上のような質問は学生の考えを導き出すのに有効であり，ファシリテーションに役立ちますが，あくまでも例であり，それぞれのPBLの内容にあった質問を行っていくことが重要です。

参考)

シンガポール共和国リパブリックポリテクニク

Republic Polytechnic

Center for Educational Development (CED), “PBL Foundation” 研修資料 (2014)